

武山 暁さん



亀岡市で農業をするメリット

個人的な部分では、妻が西陣の生まれなので、家族と近い距離で農業ができるというメリットがあります。次に、京阪神それぞれの都市部が近いので、鮮度を落とさずに野菜を出荷することが可能だそうです。都市部に近いということから色々なメリットが生まれているといいます。また、桂川水系が農地に利用できることや気候が穏やかであるという環境面も亀岡で農業をする上でのメリットもあるそうです。

取材した学生の感想

今回、取材を通して亀岡という土地が色々な面で農業に適していることを知りました。取材を終えた後には、ほうれん草をいただきました。噛めば噛むほど甘みが広がり、とてもおいしかったです。武山さんも自然と100%向き合えることが充実感とおっしゃっていましたが、実際に亀岡の自然を体験して農家という職業がとても楽しそうだなと感じました。今回は貴重なお時間をいただきありがとうございました。武山さんは、農業をする地域の文化や歴史を尊重して、その文化や歴史に自分から合わせていくことが必要とおっしゃっていて、農業だけでなく、亀岡という地域やほかの農家さんたちとの関りも大切にされていることを感じました。今回はお忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。

メイン作物の特徴、こだわり

ナスは大きくなりすぎると味がぼけてしまうので、大きすぎず、小さすぎず適正なサイズで収穫することを心掛けているそうです。肥料も追肥の遅れがないように、植物が求めているタイミングでの追肥を心掛けているということです。玉ねぎに関しては、水が溜まっていたら水はけをする、寒さが厳しい場合は被覆をするなど玉ねぎが快適に、ストレスがかからない状態を保つことを心掛けているそうです。

メイン作物の選定理由

ナス
特殊な野菜ではないため、作った分だけ消費者の方々が買ってくださる作目だそう。そのため夏場は安定的な収入が得られるといいます。亀岡は賀茂ナスの産地でもあるが、より作りやすく売れる千両ナスを作っています。また、亀岡の土地もナスの栽培に適している土地だそうです。

玉ねぎ
曾我部町が産地で、新規就農時に先輩からこの土地に合っていると教えてもらったそうです。産地なだけあり、経験が浅かった時も作りやすかったそうです。

農家になった理由

もともと緑茶の生産に携わっていたこともあり、結婚を機に京都府内で就農をしようという気持ちがあったといいます。就農窓口で紹介してもらったのが亀岡市の農地でした。自分の元々やっていたキャリアも考え、今後自営業をやっていくにあたって最適解だと考えたのが農業だったそうです。また、会社員よりもやりがいのある仕事だと感じ、居心地がよく、そのため農家を志すことになりました。

農家としての喜びや苦勞

農業を職業とする上での喜びは、食べ物にかかわっている職業だから、食を支えているという面でのやりがいと、人間が活かされている自然と100%向き合うことができているという充実感を感じれるのが一番の喜びだといいます。苦勞は、喜びである部分とほぼ一体ですが、自然を相手にしているため、獣の被害や雪などの気候面という予測できないことが起きてしまうことがあるそうです。また収入が安定しているわけではないという経済的な部分もあるそうです。

作物

冬 : 玉ねぎ
夏 : ナス
その他の期間 : ほうれん草、大根